



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2022年12月05日 第1096号「週刊五十嵐レポート」

天職とは

11月29日付日経新聞、コラム「私見卓見」から。テーマは「天職をどう創るか」(川端康夫氏)。職は一般には「探す」という意識だろうが、なかなか合うものが見つからない。だったら自分に合う職を創ればいい。必要な要素は4つある。

第1、仕事の基本を覚える。営業にはその基本が詰まっている。顧客を見つけてから対価を受け取るまでが仕事。その流れを体得することは必須。

第2、自分が興味を持てる仕事を幾つか経験する。社内の異動、転職、副業でもいいので、やりたいと思う仕事をする。フィットすると感じたら深く掘り下げてみる。

第3、必要な定型的スキルを身につける。海外との仕事をするなら英語は必須。ソフトウェアを作るにはプログラミングのスキルが求められる。

第4、人とのつながりを持つ。既に同じような仕事をしている人、顧客になってくれそうな人、応援してくれる人など、人とのつながりを作り、大切に作る。

必要な要素がそろったら、それを組み合わせる。仕事として成り立つ可能性があるなら、天職に巻き込む。天職を自分で創るという気持ちで準備していると不思議と必要な条件がそろったりする。

第1の仕事の基本はランチェスター経営でいうと、1. 見込み客発見 2. 契約、販売 3. 顧客維持 4. 紹介等の営業戦略の仕組みを構築すること。

第2は、願望・意欲・向上心につながっていく。

第3は、強い商品作り、強い有料のサービス作りにつながる。

第4は、人脈づくりにつながる。

なるほどと思う。どれも大切。その中で第1は最も重要。会社は粗利益で生きている。その粗利益は顧客からしか生まれない。顧客はどこにいるのか、顧客は誰か、どうやって顧客を集めるか、引きつけるか、1度買った顧客を繰り返し買ってもらうにはどうしたらいいか。ここを仕組みにできる人は仕事の基本を体得した人。天職に近づく。

ちょっと
気になる出来事

夕方(6時半~7時半)雨や都合が悪い時以外は走っている。おかげで体の調子は良い。今年もあと1ヶ月を切った。1月から12月4日現在まで延1,916キロ走っている。今は便利でスマートウォッチとスマホがあれば、時間と距離はわかる。合計時間は11,795分、合計歩数1,984,148歩、平均ペース1キロ6分9秒。

ちなみに、東京から中国の都市の距離を調べてみた。大連まで1632キロ、青島まで1733キロ、上海まで1753キロ、南京1963キロ、天津2013キロ、北京2088キロ。

距離だけみると、上海までは到達している。年内に天津までは行けそう。北京までは厳しいかな。

当初2000キロというと、果てしない遠い距離だと思っていたが、1年かけてコツコツ走ってみると、あと1か月足らずで到達できそう。続けることの大切さを感じる。道は遠くても続けていけば、到達する。



一口メモ
知識

雷解けの時

天地解(と)けて雷雨作(おこ)り、雷雨作(おこ)って百果(ひゃっか)草木みな甲拆(こうたく)す。

天と地の気が交わって解け、冬が春へと移り変わる。

春雷や春雨が起り、雪解けの時が訪れる。

「甲拆(こうたく)す」とは種子の硬い皮が熟して弾けること。

春雷で地が潤い、百花草木が芽吹くことを表している。

雷水解(らいすいかい)は困難が解決する時を説く卦。

物事が解決する前には、春雷のような動きがある。

それを良く見極めて解決へ向けての適切な行動をとることであると教えている。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com



新経営の
志手帳